

2014年

1月25日

第519号

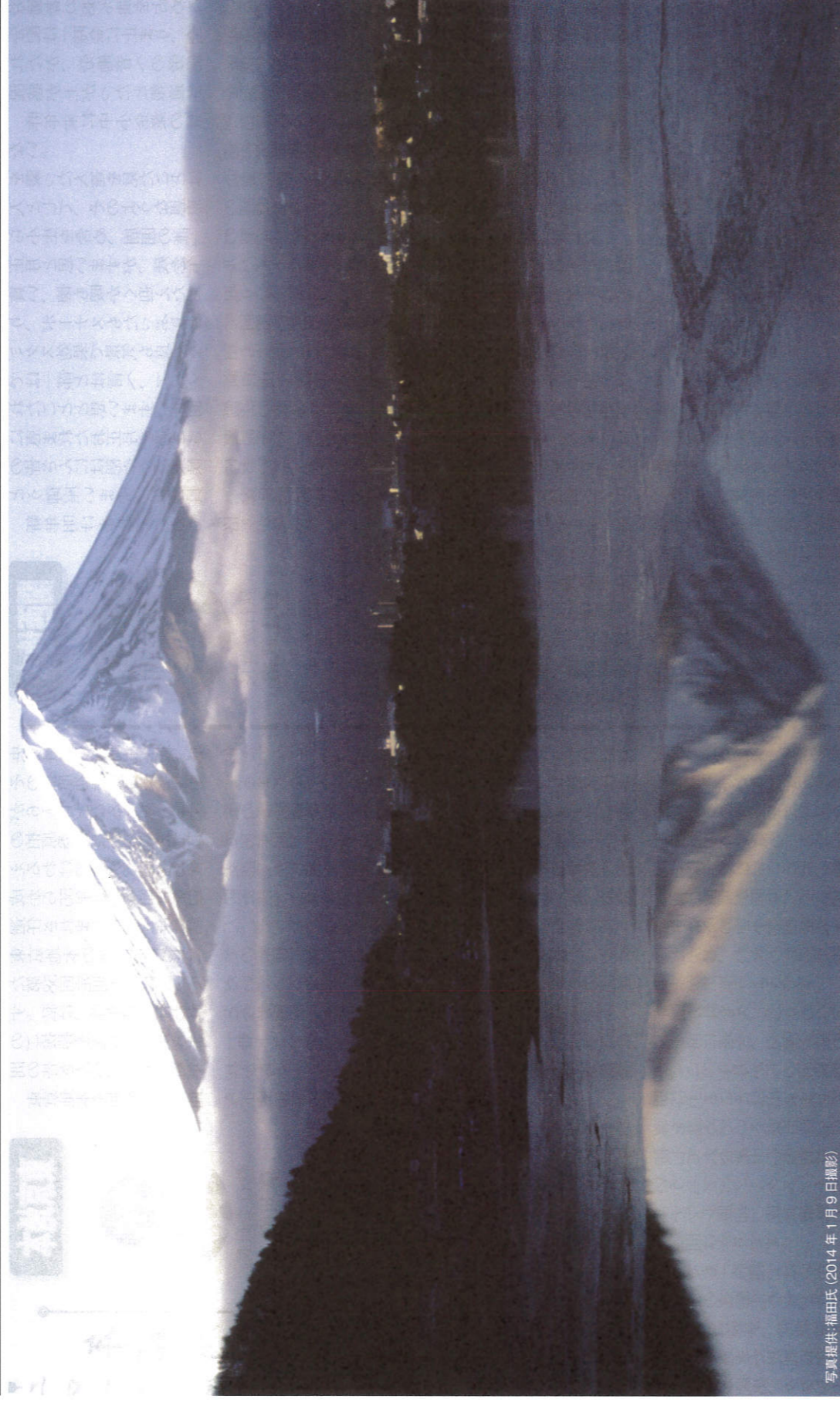


TOKYO

JTUC DRIVERS CRAFT UNION

新運転

発行人
新産別運転者労働組合
(略称・新運転) 武二
編集兼発行人 太田 武二
〒110-0003
東京都台東区根岸3-25-6
TEL 03-5603-1015
FAX 03-5603-5351
mail: simunten@yahoo.co.jp



写真提供: 福田氏 (2014年1月9日撮影)

実際のところ60年周期



中央執行委員長

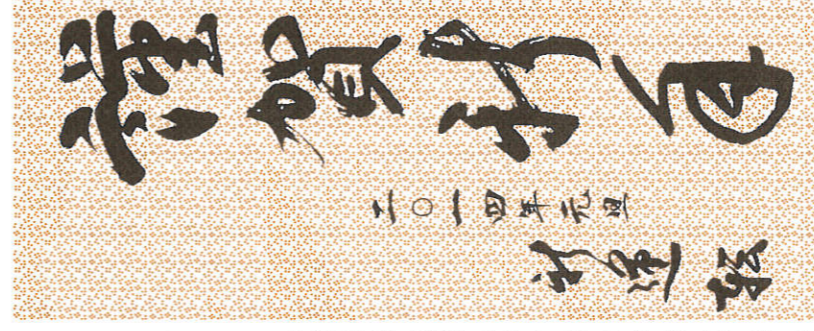
篠崎 庄平

今年の干支は午年。午年といえば十二支で言うところの丙午が有名だが今年には60年周期の折り返し点となる31番目の甲午である。60歳を祝う還暦も「十二支」がもとだ。有名な甲子園球場も大正13年「甲子」の縁起のいい年に完成したことから名づけられたという。その甲午の「甲」は「かぶとよろい」とか「草木の芽が殻を破って頭を出す」ことから「旧体制が破れ革新が始まる」という意味らしい。一方の「午」は杵の形をした呪器の象形文字で「激しく動いて抵抗・対抗」「衝突が頻発し世の中が騒然」と乱世になるというのだ。兎にも角にも古代中国で生まれた四柱推命とか陰陽五行思想が現代のわれわれの生活全体にも影響を与え続けているわけなのである。またその影響でもあるまいが20世紀のソビエトで生まれた経済学者のニコライ・コンドラチエフが唱えた長期経済循環の波も50年から60年周期となっている。

で歴史を振り返ってみると成る程と頷く。3周期前の1834年には天保の大飢饉、百姓一揆から天保の改革が断行され幕末から明治維新へと歴史が動いた。2周期前の1894年は甲午農民戦争(東学党の乱)から日清戦争へ突入する年だ。そして60年前の1954年である。この頃私は10代後半の血気盛んな若者だった。実際の運動現場にも参加しており、それぞれ強烈な記憶として残っている出来事ばかりである。1月早々の皇唐一般参賀者16人が死亡した三重橋事件、3月1日は第五福竜丸が米国の水爆実験で被爆し原水爆禁止運動が全国に広がった一方で、その翌4月には何と今の福島原発事故の起点となる原子力平和利用を推進する決議が衆議院で満場一致で成立。同じ4月には造船業で指揮権発動。6月には近江絹糸の大争議と警職法を巡って国会に警察官導入。7月には日本再軍備となる自衛隊発足。更にこの年は5月から9月にかけて台風、大火の被害が連続したが、中でも死者・行方不明が1155名にも上った台風15号(洞爺丸台風)と映画「ゴジラ」の映像と音楽は今も鮮烈な印象として残っている。

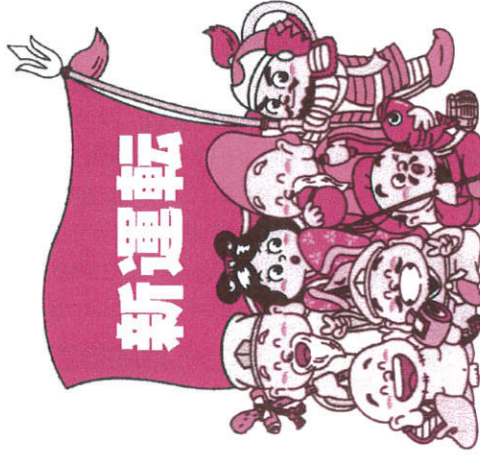
さて今年結成55周年を

迎えるわれわれのこの1年は如何なるや。3年数ヶ月間に3人も首相が変わった拳句に国民から見限られた民主党政権に代わって2年目を迎えた安倍政権である。「アベノミクス」3本の矢の経済政策とオリンピック誘致や原発海外売り込みなどマスコミ誘導の高い支持率に驕った形で特定秘密保護法強行から靖国参拝へと暴走した年末国内はもとより頼りとしているアメリカからも前例のない厳しい批判を受けて1年を締めくくった。新年を迎えた安倍政権は、日米同盟からみの辺野古新基地建設を左右する名護市長選挙、徳洲会疑獄から降つて沸いた東京都知事選挙、そしてお膝元の山口県知事選挙から消費税増税で4月の新年を迎える。また実質改革となる集団的自衛権行使を認めてアメリカの機嫌取りに向かう一方、国内的には原発新增設を封印しながら再稼動に動き、経団連、大企業中心の賃金上げを春闘に期待するだろう。それをデフレからの脱却口と期待する向きもあるが私は大きな落とし穴が待っていると見ている。国民に重税と社会保障負担を課して延命した政権はないからだ。甲午の今年、国民を甘く見る安倍政権の暴走に止めを刺す1年としたい。



労供労連役員一覧

- | | |
|-------|--------|
| 会長 | 篠崎 庄平 |
| 会長代行 | 根本 義弘 |
| 副会長 | 松居 順一郎 |
| 〃 | 草薙 脩二 |
| 事務局長 | 桑嶋 正 |
| 事務局次長 | 太田 武二 |



- | | |
|-----------|-------|
| 中央執行委員長 | 篠崎 庄平 |
| 副中央執行委員長 | |
| 関西職別労供委員長 | 白土 武裕 |
| 副中央執行委員長 | |
| 東京地本委員長 | 草薙 脩二 |
| 中央書記長 | |
| 東京地本書記長 | 太田 武二 |
| 中央執行委員 | |
| 埼玉地本委員長 | 折井 洋之 |
| 中央執行委員 | |
| 滋賀地本委員長 | 楠 真一郎 |